

2024年度 北陸大学一般選抜(本学独自方式)A日程問題

(1月31日実施)

日 本 史

(注 意)

1. 問題冊子は本文8ページ、問題Ⅰ～Ⅳ、解答数32。
2. 解答用紙はマークシート1枚、解答は各解答欄に、当てはまる
選択肢の枠内をぬりつぶすこと(複数解答は無効)。
3. 解答用マークシートは、持ち帰ってはならない。
4. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
5. コピー及び二次利用は行わないこと。

【I】次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

1199年に源頼朝が死んだあと、子・頼家が跡を継いだが、指導者を失った東国武士の間に不安と動揺が広がった。こうした中、頼家の母の北条政子は頼家の独裁を抑え、北条時政ら（A）人の有力御家人の合議によって訴訟の裁決を行うことにした。1203年に時政は、頼家を伊豆修禅寺に幽閉し、弟の実朝を将軍に立てて、自らは政所の別当に就任した。

次いで、時政の子の北条義時は、1213年に（B）を倒して侍所別当の地位を奪い、ここに北条氏は民政・軍事にわたる幕府内の要職を独占して幕府の実権を握ることになった。時政と義時によって確立されたこの地位は執権といわれ、以後、北条氏に世襲された。

1219年、鎌倉では実朝が頼家の遺児の公暁に暗殺されると、頼朝以来の源氏将軍の血筋が絶えた。北条義時は京都から後鳥羽上皇^アの皇子を迎えようとしたが許されず、（C）出身で源氏にも遠縁にあたる人物を鎌倉に迎えて将軍職に継がせることにした。鎌倉の動揺を見て取った後鳥羽上皇は、1221年、ついに義時追討の宣旨をくださった。しかし、頼朝以来の恩顧にこたえた東国の武士たちは、北条政子の呼びかけに応じて結束を固め、東海・東山・北陸の三手に分かれて進撃を開始し、わずか1か月で京方の防衛線を突破し、京都を占領した。これを承久の乱^イという。

その後、義時は、1223年に諸国に命じて大田文を作成させ、軍役などを課する際の台帳とした。義時の跡を継いで執権となった北条泰時は、新たに叔父・北条時房を（i）に任命して執権の補佐役とした。また、政務に練達した武士を選んで（ii）とし、執権・（i）・（ii）の合議によって幕府の政策が決定される体制を整えた。そして、合議制に基づく政治の実現のための共通認識として、泰時は1232年に御成敗式目^ウを制定した。

問1 （A）にあてはまる数字を下の選択肢から1つ選びなさい。（マークシート解答欄1）

1. 3 2. 7 3. 13 4. 17

問2 （B）にあてはまる人物名を下の選択肢から1つ選びなさい。（マークシート解答欄2）

1. 九条頼経 2. 安達泰盛 3. 三浦泰村 4. 和田義盛

問3 下線部アについて、後鳥羽上皇が幕府に対抗しうる軍事力の整備のために新たに設置した組織を下の選択肢から1つ選びなさい。

（マークシート解答欄3）

1. 西面の武士 2. 滝口の武士 3. 北面の武士 4. 東面の武士

問4 (C) にあてはまる適切な語句を下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄4)

1. 菅原家 2. 大伴家 3. 摂関家 4. 吉備家

問5 下線部イについて、下の各文は承久の乱の結果について説明したものである。説明として不適切なものを下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄5)

1. 後鳥羽上皇は隠岐へ、土御門・順徳の両上皇は土佐と佐渡に配流された。
2. 上皇方について貴族・武士の所領3000余ヶ所が没収された。
3. 東国における幕府の支配権が飛躍的に強化された。
4. 北条時房・泰時が六波羅探題として京都にとどまり、朝廷を監視した。

問6 (i) と (ii) に入る適切な語句の組み合わせを下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄6)

1. 評定衆—連署 2. 引付衆—管領 3. 連署—評定衆 4. 管領—引付衆

問7 下線部ウについて、以下の問いに答えなさい。

(1) 御成敗式目は全何条から成っているか。あてはまる数字を下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄7)

1. 23 2. 37 3. 49 4. 51

(2) 下の各文は御成敗式目について説明したものである。この内容にあてはまらないものを下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄8)

1. 源頼朝以来の幕府政治の慣例にのっとったものである。
2. 非自由民の子どもの処分について記載されている。
3. 公家法と武家法が調和したものとなっている。
4. 女性の財産や養子について記載されている。

【Ⅱ】次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

19世紀、産業革命を経るなかで欧米諸国の経済的軍事的勢力は圧倒的なものとなった。アメリカは日本を、(i)との貿易の中継地や捕鯨船の補給地に利用しようと考えた。このためアメリカは東インド艦隊を再度日本に派遣して開国を求めた。ペリーを司令長官とする蒸気船を含む4隻の艦隊は、1853年6月、琉球を経て(A)に来航した。老中の阿部正弘を中心とする幕府は、開国を求めるアメリカ大統領の国書を受け取り、翌年の返答を約束して帰国させた。また同年7月、ロシアのプチャーチンも長崎に来航し、開国と国境確定の交渉を求めたが、幕府はこれに対しても回答を引きのばした。翌年の1月、ペリーは再び来航し回答を求めたので、幕府は、ついに日米和親条約に調印した。

日米和親条約は自由貿易を認めていなかったため、日米和親条約に基づき赴任した総領事ハリスは、通商条約の締結を強く幕府に求めたが、この対応をめぐる幕府の意見は割れた。結局、ときの老中は通商条約調印を決意し、その勅許を朝廷に求めたが、攘夷主義者の孝明天皇はこれを許さなかった。しかし、1858年、第2次アヘン戦争でイギリス・フランスが(i)を破ると、ハリスはこれを背景に幕府を脅かし、同年6月、(B)はこれに屈して勅許を得ないまま日米修好通商条約に調印した。

1859年、横浜・長崎・箱館の3港で自由貿易が開始されると日本の貿易額は急速に増大した。貿易は、輸出品を扱う売込商、輸入品を扱う引取商が居留地で外国商人とおこなった。輸出品は、(ii)・蚕卵紙・海産物など半製品や食料品が中心であり、輸入品には毛織物・綿織物のほか武器・艦船などの工業製品が多かった。幕末期の貿易は大体において大幅な輸出超過であった。最大の輸出産業となった製糸業は急速に発展し、アニュファクチュア化がすすんだが、(ii)輸出の激増で原料不足となった絹織物業は逆に打撃を受けた。また綿製品の輸入は、綿作や綿織物業を不振に追い込んだ。

貿易の拡大は流通機構にも大きな変動を及ぼした。在郷商人は開港地に商品を直接送るようになり、江戸の特権的問屋を頂点とする流通機構がくずれた。幕府は、1860年、五品江戸廻送令を出し、五品をいったん江戸に送るよう命じたが、在郷商人の活動や諸外国の反対のため効果はなかった。

貿易開始後、(iii)の大量流失がはじまり、幕府はこれを阻止するために(iii)貨の質を大きく下げる改鋳をおこなった。しかしこの改鋳は、輸出超過や流通機構の混乱とあいまって急激な物価上昇をもたらした。

問1 (i)に共通してあてはまる適切な語句を下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄9)

1. 唐 2. 宋 3. 明 4. 清

問2 (A)にあてはまる適切な地名を下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄10)

1. 博多 2. 長崎 3. 神戸 4. 浦賀

問3 下線部アについて、日米和親条約の内容に関する説明として不適切なものを下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 11)

1. 薪水・食料の供給や難破船を救助すること。
2. 一方的な最恵国待遇をアメリカへ付与すること。
3. 倭寇などの海賊を日本が取り締まること。
4. 下田と箱館を開港すること。

問4 (B) にあてはまる人物名を下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 12)

1. 安藤信正
2. 島津久光
3. 井伊直弼
4. 松平容保

問5 下線部イについて、アメリカ以外にこの条約を結んだ国としてあてはまらないものを下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 13)

1. オランダ
2. スペイン
3. イギリス
4. フランス

問6 (ii) ・ (iii) にあてはまる適切な語句の組み合わせを下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 14)

1. 生糸・銀
2. 生糸・金
3. 茶・銀
4. 茶・金

問7 下線部ウについて、五品にあてはまらないものを下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 15)

1. 生糸
2. 水油
3. 綿花
4. 呉服

問8 下線部エについて、この後の日本の社会情勢についてあてはまらないものを下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 16)

1. 下級武士や庶民の生活を苦しめた。
2. 農村での一揆や都市での打ちこわしがおこった。
3. 幕政への批判や攘夷運動の経済的背景となった。
4. 朝廷の権威が失墜し、公武合体運動がおこった。

【Ⅲ】 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

第一次世界大戦がおこると、日本の大隈重信内閣は、1902年に（ A ）との間で結ばれた同盟を理由に連合国側に立って参戦した。政治的にも経済的にもゆきづまっていた日本は、ヨーロッパでの大戦を好機として、国内を安定させ、さらに中国との諸懸案を解決しようとした。日本は、ドイツの東アジアでの根拠地であった（ B ）を占領し、赤道以北のドイツ領南洋諸島の一部を占拠した。

第一次世界大戦が始まる前、中国では1911年に辛亥革命がおこり、翌年に中華民国が成立して清国は滅んだが、中国国内は不安定であった。1915年、日本は中国政府に対し、（ C ）か条の要求をつきつけ、その大部分を認めさせた。しかし、このことは中国民衆の怒りを呼びおこし、排日運動が盛り上がった。また、列強も日本の動きを警戒した。

第一次世界大戦は、日本の不況と政府の財政難をいっきよに吹き飛ばし、日本経済はかつてない好況となって大戦景気のブームにわいた。日本の輸出は大幅にのび、貿易額も大戦中に約3倍にのびた。アジア市場へ（ i ）、アメリカ市場へ（ ii ）などを大量に輸出し、毎年、大幅な輸出超過となった。また、造船・海運業もこれまでにない好景気となり、いわゆる船成金がぞくぞくと誕生した。こうして、戦前に借金を抱えていた日本は、戦後は資金を外国に貸すほどの豊かな国となった。

しかし、この大戦景気の底は浅かった。大戦景気のなかで米の価格は上昇していたが、1918年8月に政府がシベリア出兵を宣言すると、軍隊で米が必要になるのを見込んだ商人が米の買い占めに走り、米の価格は前年の約2倍となった。こうした動きに対し、富山県の漁村の女性のあいだに米の安売りなどを求める運動がおこり、この運動はたちまち全国に広がり、ときには暴動となる場合もあった。寺内正毅内閣は軍隊を出動させてやっと鎮圧した。

この運動の後、世論を納得させるためにも、元老は立憲政友会総裁の（ D ）を首相に推薦した。彼は、陸・海軍大臣と外務大臣を除く閣僚をすべて立憲政友会の党员から選んだ。衆議院に議席を持つはじめての首相である彼は「平民宰相」と呼ばれて国民から歓迎された。しかし、社会政策や普通選挙の実施には慎重で、選挙法を改正して納税資格を広げて有権者の数を増やすにとどまった。1920年の総選挙で、立憲政友会が絶対的多数となると、このことを背景に、強引な政治運営を行なった。

問1 （ A ）にあてはまる適切な国名を下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 17)

1. フランス 2. イギリス 3. オランダ 4. イタリア

問2 （ B ）にあてはまる適切な地名を下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 18)

1. 台湾 2. 満州 3. 旅順 4. 青島

- 問3 (C) にあてはまる適切な漢数字を下の選択肢から1つ選びなさい。
(マークシート解答欄 19)
1. 五 2. 十七 3. 二十一 4. 三十六
- 問4 下線部アについて、下の各文は大戦景気がおこった理由を述べたものである。不適切な文を下の選択肢から1つ選びなさい。
(マークシート解答欄 20)
1. ヨーロッパの列強が戦争に追われてアジア市場から後退したから。
2. 日本はアジア市場だけでなく世界各地へ商品を売り込んだから。
3. 欧米で行われている金本位制から変動為替相場制へ移行したから。
4. 列強の軍需物資の調達などにより日本の植民地の経済が好況となったから。
- 問5 (i)・(ii) にあてはまる適切な語句の組み合わせを下の選択肢から1つ選びなさい。
(マークシート解答欄 21)
1. 綿布・生糸 2. 茶・呉服 3. 金属・家電 4. 銅・銀
- 問6 下線部イについて、この出来事を何というか。下の選択肢から1つ選びなさい。
(マークシート解答欄 22)
1. 五・一五事件 2. 秩父事件 3. 霜月騒動 4. 米騒動
- 問7 (D) にあてはまる適切な人物名を下の選択肢から1つ選びなさい。
(マークシート解答欄 23)
1. 桂太郎 2. 高橋是清 3. 原敬 4. 加藤高明
- 問8 下線部ウについて、時の首相が行った政治としてあてはまらないものを下の選択肢から1つ選びなさい。
(マークシート解答欄 24)
1. 産業の振興、軍備の縮小、高等教育機関の拡充などを推進した。
2. 外交面では、アメリカやヨーロッパと協調した歩調をとった。
3. 貴族院勢力を牽制したり、植民地支配制度を緩和したりした。
4. 日本ではじめての本格的な政党内閣を背景に政治を動かした。

【IV】 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

太平洋戦争の終了後、日本国民が生活に苦しんでいた1947年4月、日本国憲法のもとで最初の総選挙がおこなわれた。(A) が第一党となり、片山哲を首相とする社会党・民主党・国民協同党の連立内閣が成立した。片山内閣は、第1次吉田茂内閣以来の傾斜生産方式^アを受け継ぎ、生産の拡大をはかろうとしたが、インフレを収束し、経済を混乱から回復させることはできなかった。

1948年3月、民主党の芦田均が同じ三党連立の内閣を組織して中道政治を進めた。同内閣は7月に(B) 書簡に基づき、政令201号を公布し、官公庁労働者の争議権・団体交渉権を否認した。その後、芦田内閣は、汚職事件に関係して退陣し、同年10月、第2次吉田内閣が成立、ついで翌年1月の総選挙の結果、第3次吉田内閣が成立し、以後、長期にわたる保守政権の原型をつくった。

吉田内閣は、アメリカから日本経済の安定と自立を求められた。アメリカは、中華人民共和国の成立と、朝鮮が大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国に分裂するという東アジアの国際情勢の変化にともない、対日政策を、日本の非軍事化・民主化から、(i) 主義陣営の一員として早期に経済復興させる方向へ転換した。

1948年12月、アメリカは、GHQを通じて吉田内閣に経済安定九原則^イの実行を指令し、翌年2月、GHQの財政顧問としてデトロイト銀行頭取の(ii) が来日した。財政緊縮によって一挙に経済を安定させようとする方針に基づき、赤字を許さない超均衡予算案が作成され、また日本経済を国際経済に結び付けるために、1ドル(C) 円の単一為替レートが設定され、戦時期の経済統制は解除された。さらに5月、全面的な税制改革を勧告した。

1950年6月、(D) 戦争がはじまり、日本はアメリカ軍を主力とする国連軍の基地となり、武器の輸送・修理、軍需品の補給のために工場・船舶・鉄道が最大限に動員され、特需がもたらされた。これによる好景気によって日本経済は一挙によみがえった。このように、中華人民共和国の成立と米中戦争の性格をおびた(D) 戦争の激化という東アジアの新しい情勢の中で、アメリカは、日本の占領を終え、日本を自己陣営に組み入れるために、1950年9月、対日講和の促進に関する声明を発し、翌年、講和条約草案を内示した。そして1951年9月、サンフランシスコ講和会議が開かれ、首相・吉田茂ら日本全権団はサンフランシスコ平和条約^ウに調印、同じ日に日米安全保障条約にも調印した。

問1 (A) にあてはまる適切な語句を下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 25)

1. 労働農民党 2. 民主自由党 3. 立憲民政党 4. 日本社会党

問2 下線部アについて、重点的な産業にあてはまるものを下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 26)

1. 製紙 2. 石炭 3. 石油 4. 家電

問3 (B) には、連合軍総司令官の人物名が入る。その人物名を下の選択肢から1つ選びなさい。(マークシート解答欄 27)

1. ウィルソン 2. ルーズベルト 3. マッカーサー 4. ニクソン

問4 (i)・(ii) にあてはまる語句と人物の適切な組み合わせを下の選択肢から1つ選びなさい。(マークシート解答欄 28)

1. 共産・リットン 2. 資本・ドッジ 3. 社会・ハリス 4. 全体・ヒトラー

問5 下線部イについて、この原則にあてはまらない文を下の選択肢から1つ選びなさい。(マークシート解答欄 29)

1. 徴税計画の促進 2. 物価の統制
3. 変動為替相場制の導入 4. 総予算の均衡

問6 (C) にあてはまる適切な数字を下の選択肢から1つ選びなさい。(マークシート解答欄 30)

1. 80 2. 120 3. 240 4. 360

問7 (D) に共通してあてはまる適切な語句を下の選択肢から1つ選びなさい。(マークシート解答欄 31)

1. 日清 2. 日露 3. 西南 4. 朝鮮

問8 下線部ウについて、下の各文はこの条約の内容を記したものである。あてはまらないものを下の選択肢から1つ選びなさい。(マークシート解答欄 32)

1. 日本は、小笠原諸島・琉球諸島(沖縄)などがアメリカの施政権下になることを認めた。
2. 講和条約は48の国々とのあいだで結ばれ、ここにいたって日本は独立を回復した。
3. 講和は、アメリカを中心とする陣営との条約となったことから「片面講和」とよばれた。
4. 会議には中国・ポーランド・チェコスロバキアは、出席はしたが調印はしなかった。